



作成日 2010/04/28

改訂日 2018/04/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | |
|----------|----------------------|
| 化学品の名称 | U-プライマーS (GHS) |
| 製品コード | CE-F01-1064 |
| 供給者の会社名称 | 宇部興産建材株式会社 |
| 住所 | 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館 |
| 電話番号 | 03-5419-6206 |
| FAX番号 | 03-5419-6265 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | |
|----------|--|
| 物理化学的危険性 | 自然発火性液体 区分外 |
| 健康有害性 | 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 区分外 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。 |

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名

混合物
スチレン・アクリル酸エステル共重合体水性エマルジョン

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | 化学式 | 官報公示整理番号 | | CAS番号 |
|------------------------|----------|------------------|----------|-----|-----------|
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| スチレン・アクリル酸アルキルエステル共重合体 | 44～48% | 不明 | — | — | |
| 水 | 52～56% | H ₂ O | — | — | 7732-18-5 |

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

水と石鹼で洗うこと。
刺激が続くようであれば、医師の診療を受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤
特有の消火方法

水、泡消火剤、粉末消火剤、ハロゲン化消火剤
このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋等を着用して消火作業をする。

消火を行う者の保護

| | | |
|---|---|--|
| <p>6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置</p> | | <p>作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。</p> |
| <p>環境に対する注意事項</p> | | <p>床にこぼした場合は、滑って転倒の恐れがあるので、全量集めて処分すること。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 漏出物を直接、川、海、土壌などに流してはいけない。</p> |
| <p>封じ込め及び浄化の方法 及び機材</p> | | <p>少量の場合、速やかに空容器や袋などに投入する。漏出した部分は吸着マットや紙タオルでふき取 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。</p> |
| <p>7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い</p> | <p>技術的対策</p> | <p>取扱いは換気良好な環境のもとで、直接皮膚や目に触れないように保護手袋、保護眼鏡等を着用して取り扱う。</p> |
| | <p>安全取扱注意事項</p> | <p>目や口に入ると刺激を受けることがあり、使用の際には十分気を付けること。 換気の良い場所で取り扱うこと。 眼、皮膚との接触を避けること。 飲み込まないこと。</p> |
| | <p>衛生対策</p> | <p>取扱い後は、うがい、洗眼、手洗いを励行する。</p> |
| <p>保管</p> | <p>安全な保管条件</p> | <p>「7. 取扱い及び保管上の注意」の項を遵守し、取扱い後は、必ず手や顔を洗い、うがいをすること。 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。 容器を密閉して保管すること。 凍結、直射日光を避け、屋内で保管する。 保管時の温度は5℃以下あるいは40℃以上とならないようにする。</p> |
| | <p>安全な容器包装材</p> | <p>情報なし</p> |
| <p>8. ばく露防止及び保護措置 設備対策 保護具</p> | <p>呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具</p> | <p>取扱いは換気の良い場所で行う。 呼吸器保護具を着用すること。 保護手袋 保護眼鏡 保護服、保護長靴等</p> |
| <p>9. 物理的及び化学的性質 外観</p> | <p>物理的状态 形状 色</p> | <p>液体 液体 乳白色 微臭</p> |
| <p>臭い</p> | | <p>データなし</p> |
| <p>臭いのしきい(閾)値</p> | | <p>約9</p> |
| <p>pH</p> | | <p>データなし</p> |
| <p>融点・凝固点</p> | | <p>データなし</p> |
| <p>沸点、初留点及び沸騰範囲</p> | | <p>データなし</p> |
| <p>引火点</p> | | <p>データなし</p> |
| <p>蒸発速度</p> | | <p>データなし</p> |
| <p>燃焼性(固体、気体)</p> | | <p>データなし</p> |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 燃焼又は爆発範囲 | 下限 上限 | データなし データなし |
| 蒸気圧 | | データなし |
| 蒸気密度 | | データなし |
| 比重(密度) | | 1.1g/cm ³ (23°C) |
| 溶解度 | | 水で無限大に希釈可能 |
| n-オクタノール／水分配 係数 | | データなし |
| 自然発火温度 | | データなし |
| 分解温度 | | データなし |
| 粘度(粘性率) | | データなし |
| 動粘性率 | | データなし |
| 10. 安定性及び反応性 | | |
| 反応性 | | 情報なし |
| 化学的安定性 | | 通常 of 取扱いにおいては安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | | 通常 of 条件では危険有害な反応は起こらない。 |
| 避けるべき条件 | | 5°C以下あるいは40°C以上とならないようにする。 |
| 危険有害な分解生成物 | | データなし |
| 11. 有害性情報 | | |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | | 皮膚に付着したままにすると、炎症をおこす場合がある。 |
| 眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性 | | 蒸気を吸引すると、頭痛をおこす場合がある。 眼に接触すると、炎症を起こす場合がある。 |
| 12. 環境影響情報 | | |
| 土壤中の移動性 | | 水域へ移動する可能性がある。 |
| 13. 廃棄上の注意 | | |
| 残余廃棄物 | | 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 下水、河川等へ流入することがないように厳重に注意する。 |
| 汚染容器及び包装 | | 容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 |
| 14. 輸送上の注意 | | |
| 国際規制 | 海上規制情報 Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code | 該当しない Not applicable Not applicable |
| 国内規制 | 航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 | 該当しない 該当しない 該当しない 非該当 |

| | | |
|------------------------------------|--|---|
| 特別の安全対策 | MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質 航空規制情報 | 非該当 該当しない 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 直射日光、雨水に当たらないように注意する。 その他、『7. 取扱い及び保管上の注意』の項の記載による。 |
| 15. 適用法令 海洋汚染防止法 外国為替及び外国貿易法 | | 有害でない物質(施行令別表第1の2) 輸出貿易管理令別表第1の16の項 |
| 16. その他の情報 記載内容の取扱い | | 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。 また、注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。 |